

「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱（案）」に対する意見および意見に対する考え方

〔市民意見公募 パブリックコメント〕

No.	関連項目・頁	意見の概要	意見に対する考え方
1	表紙	<p>表紙にあります、「町おこし人おこし」の文章ですが、初見では何と書いているのか、誰が書いたのわからないと思いました。脚注などで石ノ森章太郎さんの言葉であることの説明がどこかにあればいいのでは。</p>	<p>ご意見のとおり、脚注により追記いたします。</p>
2	4 目指す姿【P2】	<p>登米市が掲げる「目指す姿」には、子どもから大人までが生涯にわたって学び続ける、地域全体で人を育てていくという強い思いが感じられます。学校・家庭・地域が連携し、地域の歴史や文化を大切にしながら人と人とのつながりを深めていくことは、これからの時代においてますます重要だと考えます。特に、地域に誇りを持ち、自立・協働・創造できる人づくりは、持続可能な登米市の実現に欠かせません。</p> <p>また、石ノ森章太郎の町おこし・人おこしに関する文章は大変素晴らしいと感じました。やはり登米市出身の著名人の方々に協力をお願いし、その存在や思いを登米市の魅力の一つとして発信していくことも大切だと考えます。この町の素晴らしさを伝えることが、若い世代の移住やリターンにつながっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として承り、今後、様々な場面での情報発信に努めてまいります。</p>

No.	関連項目・頁	意見の概要	意見に対する考え方
3	4 目指す姿 【P2】	<p>「目指す姿」ということは、将来、未来の話をしていると思うのですが、文章を見ると「登米人が育っています。」や「地域社会が形成されています。」の様にすでに進行形になっているのが気になりました。</p> <p>目指すのであれば、「登米人を育てます。」や「地域社会を形成していきます。」といった表現の方が適切ではないでしょうか。</p>	<p>教育大綱の2ページの「4 目指す姿」でも考え方を記載しておりますが、めまぐるしく変化する社会にあって、人が自立した一人の人間として生きていくためには、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康と体力」の3つの要素からなる「生きる力」を確実に身に付け、同時に、社会の一員として、ふるさと登米が培ってきた歴史や文化を土台に、よりよい社会を創造する、心豊かで主体的に生きる人間を育むことを目標としており、生涯にわたる取組であることから、進行形の表現としておりますので、現行のままとさせていただきます。</p>
4	6 施策の基本方向 基本方向③ 【P3】	<p>関係者に配慮して、多様なニーズと表記したのかもしれないが、誰もがわかるように「特別支援」も表記した方が良いと思う。</p>	<p>多様な教育的ニーズのある子どもたちが増加傾向にあり、個別に特別な支援が必要とされていることから「基本方向」では「多様なニーズに対応し誰一人取り残さない教育の推進」としております。市教育振興計画において、基本的取組6「特別な支援を必要とする子どもへのきめ細かな教育の推進」として示しておりますので、現行のままとさせていただきます。</p>
5	6 施策の基本方向 基本方向⑤ 【P3】	<p>近年、地区の子供会が解散しており、親同士のつながりや、お年寄りとの触れ合う行事も無くなっているため、支援をしながら繋がりが持てればと思う。</p>	<p>ご意見として承り、地域コミュニティの活性化と参加しやすいコミュニティ活動の推進に向けて、今後の参考とさせていただきます。</p>